

読む葡萄酒

その⑨

シャトー物語

左京区 山本博



「シャトー・ペトリュス」はボルドー地区のポムロールに位置します。このシャトーは遅霜にあったとき、ヘリコプターをチャーターし、ヘリコプターの風で霜を吹き飛ばしたとか。グレートヴィンテージのこの葡萄酒は、30年の年月を経て、やっと飲み頃に達します。熟成した「シャトー・ペトリュス」はトリュフの香りがします。ピロードのようななめらかな舌触りで、素晴らしい香りの余韻がいつまでも漂っています。

甘口葡萄酒の最高峰に、「シャトー・ディケム」があります。

1855年ナポレオン3世は、パリ万博の目玉として、ボルドー地区の何百とある「シャトー」の格付けを行いました。ここでいう「シャトー」とは、フランス語で城を意味する言葉ですが、フランスの葡萄酒に関しては、オーナーの住居があり、葡萄を栽培し、醸造から葡萄酒製造、出荷まで一貫して行っていることを意味します。

さて、フランスで美しい「シャトー」が多々見られるのはロワール川の流域です。「シュノンソー城」、「アゼルリドール城」等々があります。この「シュノンソー城」では美味しい葡萄酒を造っています。

さて、フランスで美しい「シャトー」が多々見られるのはロワール川の流域です。「シュノンソー城」、「アゼルリドール城」等々があります。この「シュノンソー城」では美味しい葡萄酒を造っています。



「シュノンソー城」



「シャトー・マルゴー」

木立に囲まれたとても瀟洒な「シャトー」です。葡萄酒も「シャ



「シャトー・ペトリュス」のご本尊 天国へ入る鍵を持ち、船に乗った聖ペテロ

「シャトー・ペトリュス」はボルドー地区のポムロールに位置します。このシャトーは遅霜にあったとき、ヘリコプターをチャーターし、ヘリコプターの風で霜を吹き飛ばしたとか。グレートヴィンテージのこの葡萄酒は、30年の年月を経て、やっと飲み頃に達します。熟成した「シャトー・ペトリュス」はトリュフの香りがします。ピロードのようななめらかな舌触りで、素晴らしい香りの余韻がいつまでも漂っています。



「シャトー・ディケム」

「シロン川」の朝靄に包まれた、葡萄の木につく、ボツリヌス菌の作用によって、貴腐葡萄ができます。ロシアの皇帝が争ってこの「シャトー」の葡萄酒を買い求めたそうです。甘口といっても甘くなく、馥郁と上品な香りがいつまでも鼻腔に漂います。

